



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# ホールドアップ問題：

5

# 部品取引における関係特殊的投資

## 設問

10

2.3 節に記述されている合併交渉を考えよ。

1. メーカーとサプライヤー 1 の交渉力は予め互いに判っているとせよ。このときのメーカーの期日 1 における利潤最大化問題を書き出せ。

2. 余剰分配交渉の結果、メーカーが余剰の半分を受け取ることができるならば、 $\beta = 1/2$  となる。このとき、過小投資は改善されるだろうか？

15

3. 合併前にメーカーがサプライヤー 1 の株式を取得すると、合併後のメーカーの交渉力は高まり、余剰分配率  $\beta$  も上昇するでしょう。このとき、過小投資は改善されるだろうか？

4. 合併前におけるメーカーによるサプライヤーの株式取得に障害はないだろうか？あるとしたら、どのようなことが障害になりうるだろうか？

20

5. 日本企業では、欧米企業に比べて、職種別労働組合ではなく、企業別労働組合が組織されていることが多い。合併交渉における労働組合の役割を論ぜよ

25

本稿は、慶應義塾大学ビジネススクール (KBS) におけるクラス討議のため、渡邊直樹 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科) によって作成された。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで (〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 渡邊直樹 (2018 年 5 月作成)